



NISSHA

2021年12月期 第2四半期 決算説明会

2021年8月5日

NISSHA株式会社

代表取締役社長 兼 最高経営責任者

鈴木順也

本日のポイント

2021年12月期 第2四半期累計（H1）の実績

- 旺盛な需要と収益性の改善により、前年同期比で大幅に増収増益（為替レート：¥106/\$）
 - 売上高 975億円、営業利益 108億円、税引前利益 122億円、親会社の所有者に帰属する四半期利益 105億円
 - 産業資材：加飾分野、サステナブル資材分野とも製品需要が旺盛、収益性が大幅に改善
 - デバイス：IT機器、産業用端末の力強い需要が継続、生産の平準化により収益性が改善
 - メディカルテクノロジー：COVID-19の影響からの需要回復が継続

2021年12月期 通期の見通し

- 通期業績予想を上方修正（H2想定為替レート：¥105/\$）
 - 売上高 1,865億円、営業利益 170億円、税引前利益 180億円、親会社の所有者に帰属する当期利益 152億円
 - H2の需要動向を見直し：産業資材はH1からの堅調な製品需要が継続、デバイスはIT機器の製品需要を上方修正
 - 産業資材、デバイスの収益性改善をH2の業績予想に反映

2021/12期 H1（6カ月）の実績

- 産業資材の製品需要が伸長
- デバイスの製品需要は季節的な急減なく力強く推移
- 生産の平準化、収益性の改善が営業利益を押し上げ

(百万円)

	FY2020 H1 実績	FY2021 H1 実績	前年同期比 (FY2020 H1比)
売上高	77,164	97,584	+26.5%
産業資材	22,413	29,866	✓ +33.3%
デバイス	40,590	52,524	✓ +29.4%
メディカルテクノロジー	10,286	11,510	+11.9%
その他	3,874	3,683	▲4.9%
営業利益	※▲ 550	10,830	黒字化
営業利益率	-0.7%	11.1%	+11.8pt
税引前利益	▲ 459	12,211	黒字化
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	481	10,587	+2097.3%
為替レート	¥107/\$	¥106/\$	

※収益力強化策の一時費用▲20億円を含む

2021/12期 Q2（3カ月）の実績

- デバイスの製品需要が安定的に推移
- メディカルテクノロジーの製品需要の回復傾向が継続

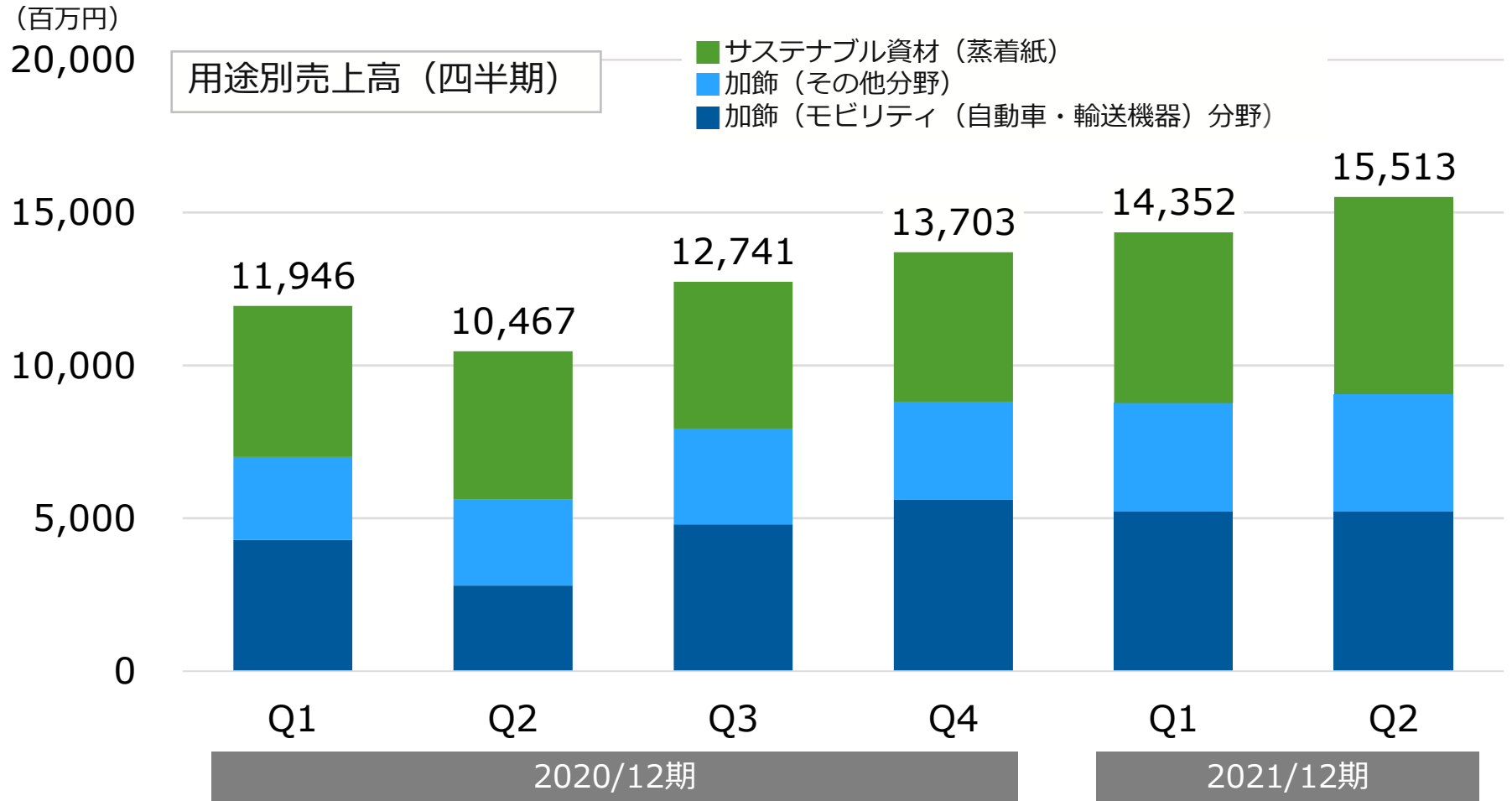
(百万円)

	FY2020 Q2 実績	FY2021 Q1 実績	FY2021 Q2 実績	前年同期比 (FY2020 Q2比)	
				前年同期比 (FY2020 Q2比)	前四半期比 (FY2021 Q1比)
売上高	37,689	47,139	50,444	+33.8%	+7.0%
産業資材	10,467	14,352	15,513	+48.2%	+8.1%
デバイス	21,053	25,521	27,002	+28.3%	+5.8%
メディカルテクノロジー	4,586	5,411	6,098	+33.0%	+12.7%
その他	1,581	1,853	1,829	+15.7%	▲1.3%
営業利益	※1 ▲ 2,353	※2 5,302	5,528	黒字化	+4.3%
営業利益率	-6.2%	11.2%	11.0%	+17.2pt	-0.2pt
税引前利益	▲ 2,256	6,197	6,014	黒字化	▲3.0%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	▲ 1,137	5,419	5,167	黒字化	▲4.7%
為替レート	¥106/\$	¥103/\$	¥108/\$		

※1 収益力強化策の一時費用▲20億円を含む ※2 為替差益9億円を含む

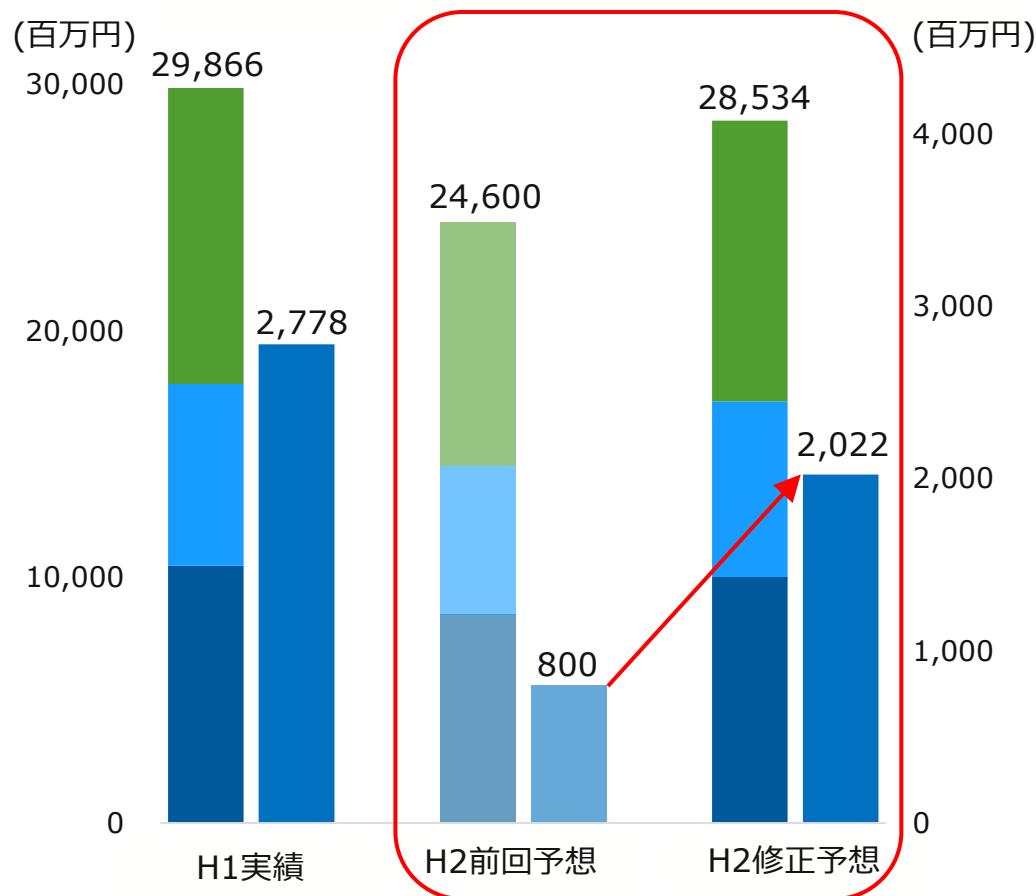
産業資材

- 加飾分野（モビリティ・家電向け）は旺盛な製品需要が継続
- サステナブル資材は製品需要が力強く推移



H2の見通し：産業資材 収益性が改善、堅調な需要が継続

- サステナブル資材売上高（左軸）
- 営業利益（右軸）
- 加飾（その他分野）売上高（左軸）
- 加飾（モビリティ）売上高（左軸）



H2前回予想比

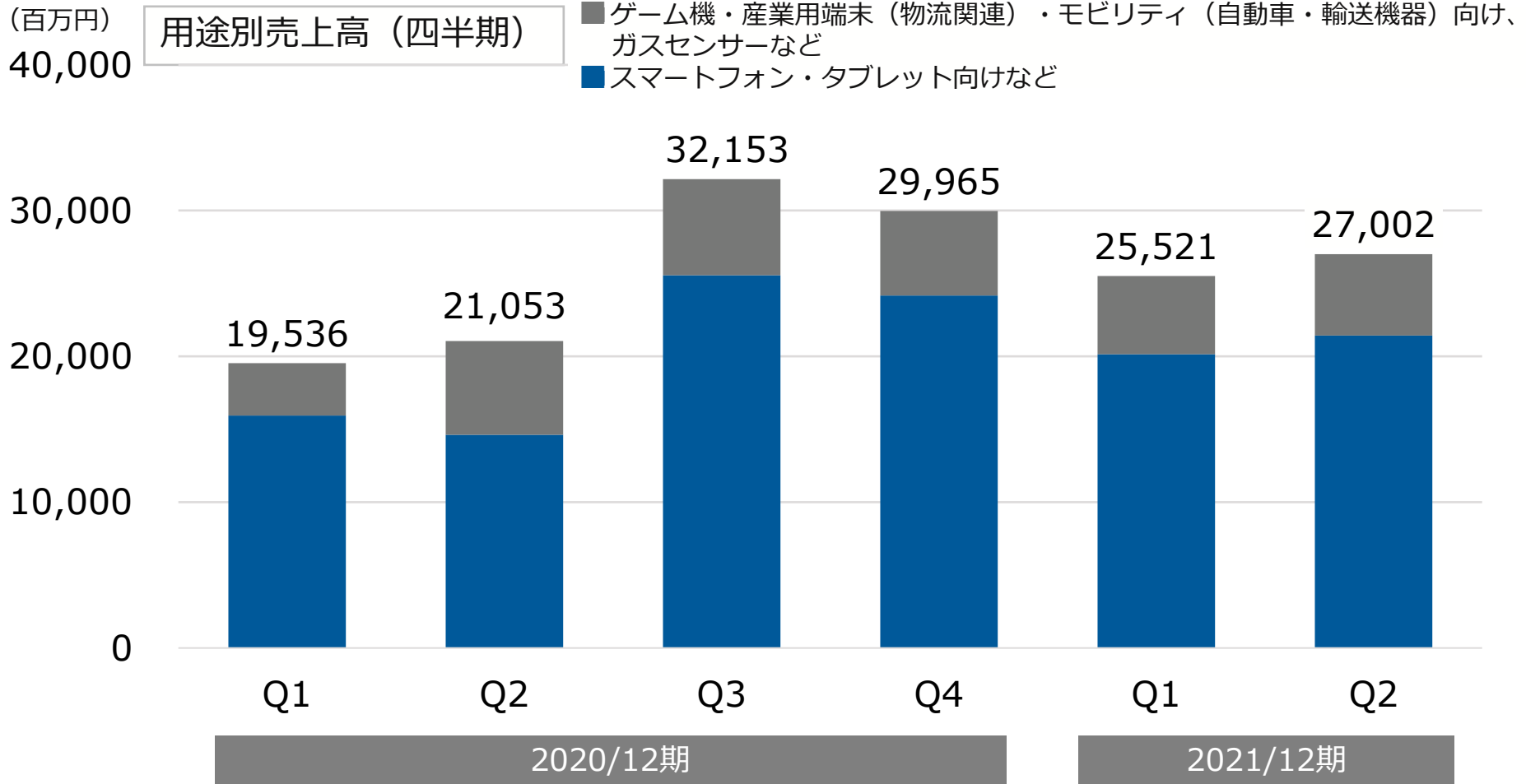
- H1の収益性を反映
- 力強い需要が継続
 - モビリティ・家電・サステナブル資材とも堅調に推移する見込み

H1実績比

- 収益構造を維持
- コスト増を織り込み
 - 材料費・物流費の高騰
 - 試作費など一過性のコスト

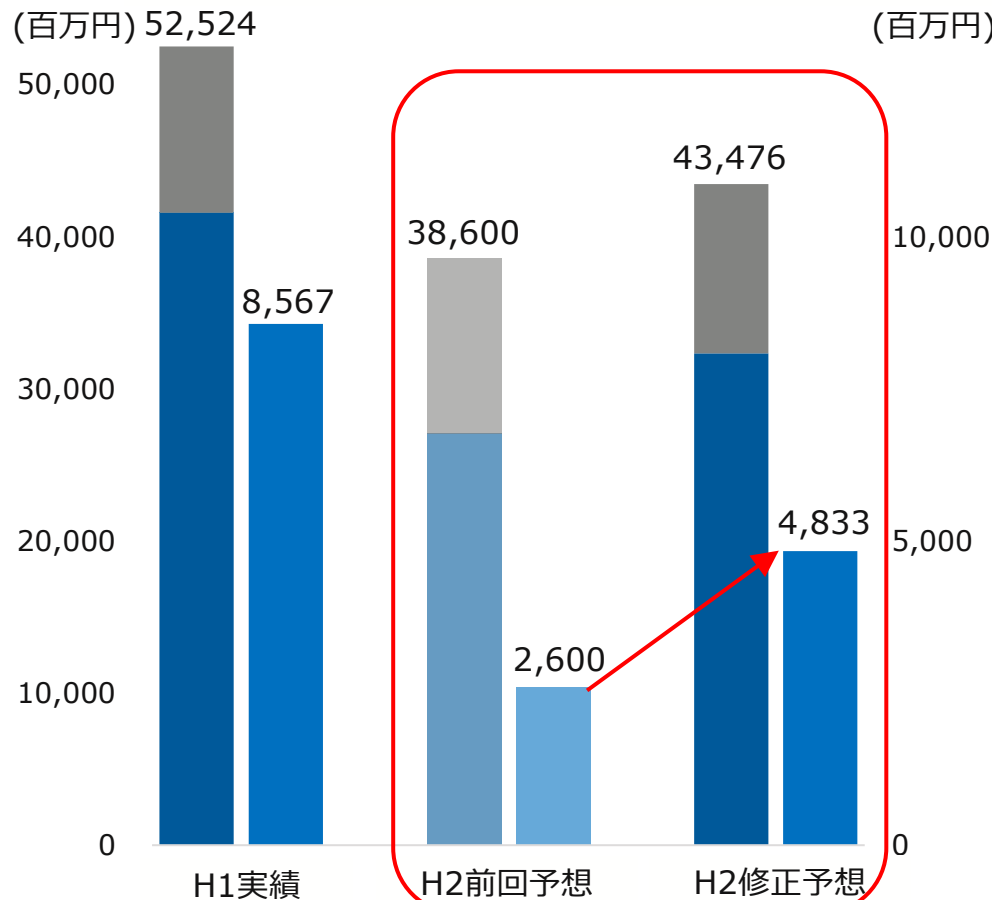
デバイス

- 季節的な需要の急減がなく、生産が平準化
- スマートフォン既存モデルの需要継続



H2の見通し：デバイス コストコントロールを徹底し、収益性を維持

- スマートフォン・タブレット向けなど売上高（左軸）
- ゲーム機・産業用端末（物流関連）向けなど売上高（左軸）
- 営業利益率（右軸）



H2前回予想比

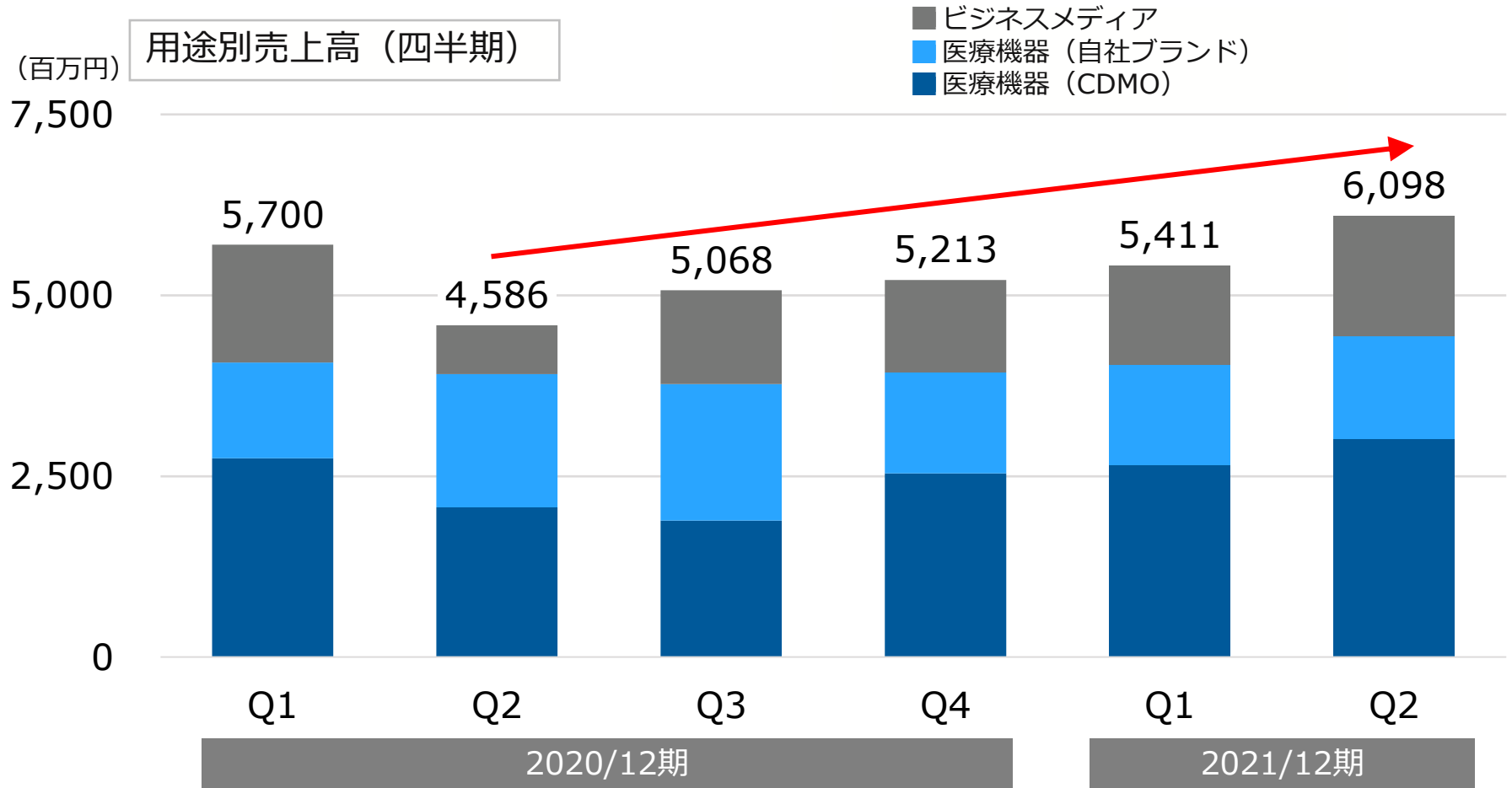
- H1の収益性を反映
- タブレットは旺盛な需要が継続する見込み
- スマートフォンは前回想定より需要が持続する見込み

H1実績比

- スマートフォンはH1比で減少
 - コストコントロールを徹底し、収益性を維持
- 在庫は減少する見込み

メディカルテクノロジー

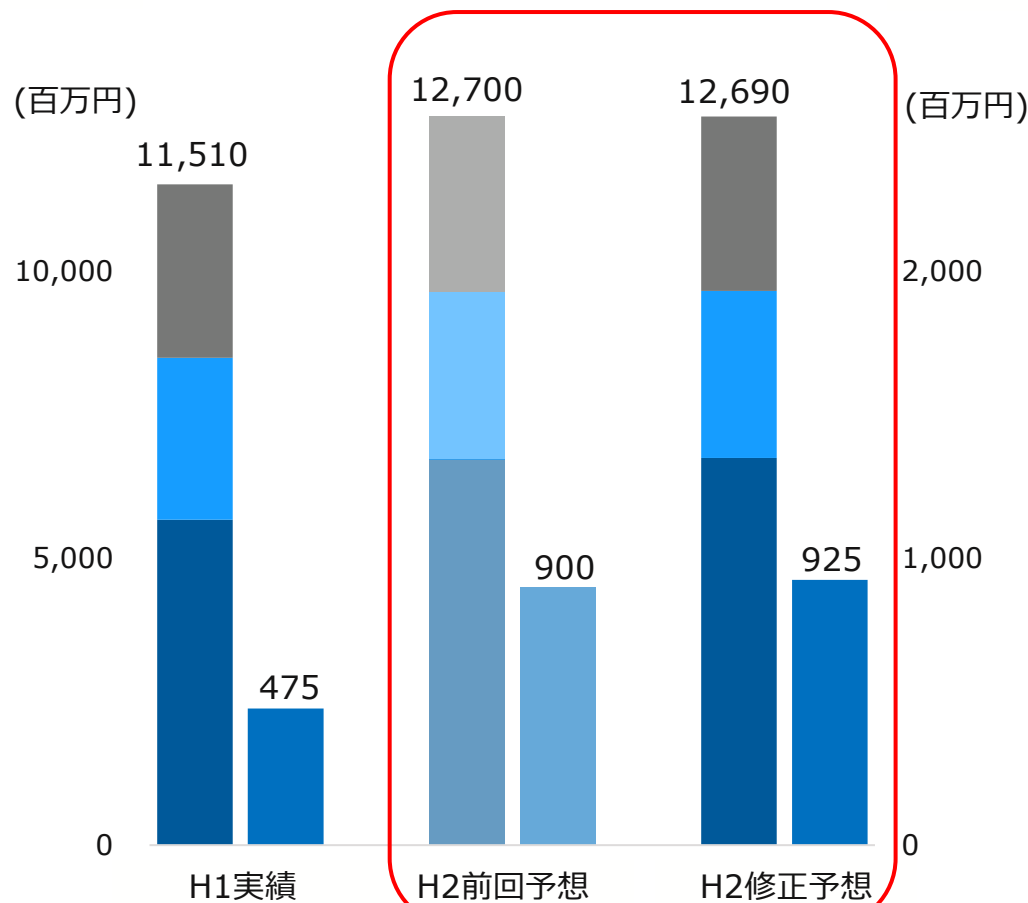
- 開発製造受託（CDMO）およびビジネスメディアの需要回復が継続



H2の見通し：メディカルテクノロジー

CDMOが本格的に回復

- ビジネスメディア売上高（左軸）
- 営業利益（右軸）
- 医療機器（自社ブランド）売上高（左軸）
- 医療機器（CDMO）売上高（左軸）



H2前回予想比

- 変化なし

H1実績比

- COVID-19からの回復が本格化
- 利益率の高いCDMOの売上高が増加

7次中計の進捗

- 2020年買収工場的能力を活用したCDMO案件の引き合い増加
- 日本でCDMO製品の量産開始
- リバーフィールドと資本業務提携

業績予想の変更

EMPOWERING YOUR VISION

上方修正、前年比で増収増益

産業資材、デバイスの堅調な需要動向と収益性の改善を反映

(百万円)

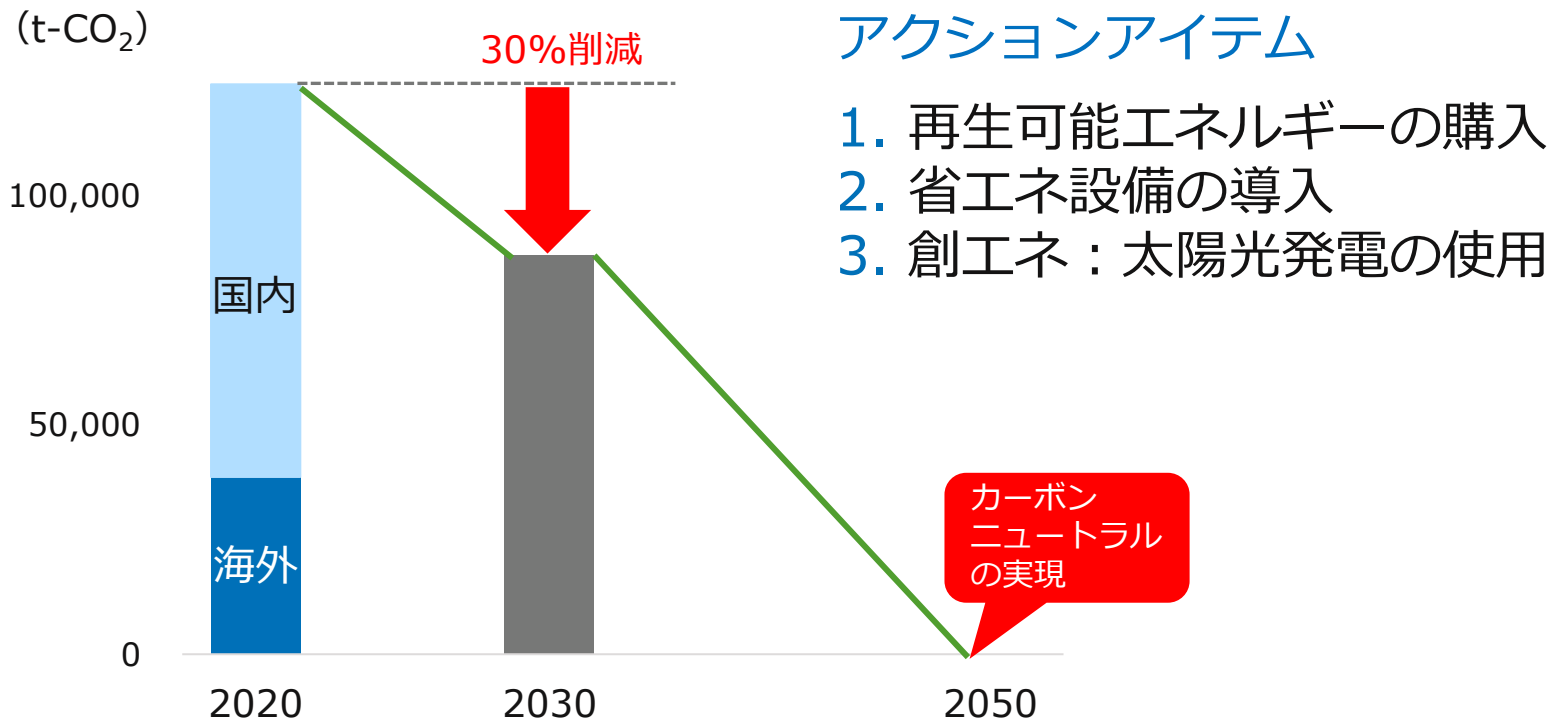
	前回予想 (5/12発表)			今回予想 (8/5発表)		
	FY2021 通期 予想	FY2021 H1 予想	FY2021 H2 予想	FY2021 通期 予想	FY2021 H1 実績	FY2021 H2 予想
売上高	172,500	92,000	80,500	186,500	97,584	88,916
産業資材	52,300	27,700	24,600	58,400	29,866	28,534
デバイス	88,000	49,400	38,600	96,000	52,524	43,476
メディカルテクノロジー	24,000	11,300	12,700	24,200	11,510	12,690
その他	8,200	3,600	4,600	7,900	3,683	4,217
営業利益	10,500	7,500	3,000	17,000	10,830	6,170
営業利益率	6.1%	8.2%	3.7%	9.1%	11.1%	6.9%
産業資材	2,900	2,100	800	4,800	2,778	2,022
デバイス	8,400	5,800	2,600	13,400	8,567	4,833
メディカルテクノロジー	1,400	500	900	1,400	475	925
その他	▲ 2,200	▲ 900	▲ 1,300	▲ 2,600	▲ 991	▲ 1,609
税引前利益	10,900	8,200	2,700	18,000	12,211	5,789
親会社の所有者に帰属する 当期 (四半期) 利益	8,700	7,000	1,700	15,200	10,587	4,613
為替レート	¥105/\$	¥104/\$	¥105/\$	¥105/\$	¥106/\$	¥105/\$

脱炭素に向けた取り組み

2050年カーボンニュートラルを目指す

【2030年目標】CO₂総排出量 30%削減（2020年比）

- 環境問題への危機意識の高まりを受けて、2030年の削減目標を従来の20%より上方修正



ご参考：設備投資・減価償却費及び償却費・ M&A投資・研究開発費

(百万円)

	第1四半期 (1-3月) 実績	第2四半期 (4-6月) 実績
設備投資	1,038	3,068
減価償却費 及び償却費	2,314	2,309
M&A投資	-	-
研究開発費	677	714

本プレゼンテーションに掲載されている情報および決算説明会・カンファレンスで提供される情報のうち業績の目標、計画、見通し、戦略、その他過去の事実ではない情報については、現時点で入手可能な情報に基づいて当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含みます。実際の業績は、経済動向、市場需要、為替の変動などのさまざまな要因によって大きく変わる可能性があります。